

# 加古川市高齢者福祉計画及び加古川市介護保険事業計画策定委員会（第5回） 議事録

日時：令和6年2月1日（木）14：00～16：00

場所：加古川市民会館 小ホール

出席者（敬称略）：

【委員】（16名）伊藤委員長、西村副委員長、河合委員、橘委員、松永委員、保田委員、花田委員、長谷川委員、衣笠委員、船原委員、近藤委員、久富委員、佐藤委員、三木委員、武信委員、梅谷委員

【事務局】（17名）

欠席者：なし

傍聴者：4名

会議資料：

- 資料1 パブリックコメントの実施について
- 資料2 パブリックコメントの一覧表
- 資料3 第10期高齢者福祉計画及び第9期加古川市介護保険事業計画（案）

## 1. 開会

[委員16人全員の出席を確認。策定委員会規則第6条第2項による会議の成立を報告]

## 2. 議事

(1) 議事「パブリックコメントの内容及びその対応について」

(事務局)

[資料1（パブリックコメントの実施結果について）により説明]

(事務局)

[資料2（パブリックコメントの内容及びその対応について）、資料3（第10期加古川市高齢者福祉計画 第9期加古川市介護保険事業計画（案））により説明]

(委員長)

ありがとうございます。市民から寄せられた意見に対する市の考え方や修正が妥当かという点からご意見をください。若年性認知症の支援についての表現が分かりにくいという点で修正後の案が出ていましたが、どうですか。

(委員)

質問されている点は確かにわかりにくいと思っていました。特に若年性認知症の場合、社会で活躍中の年代で発症するという表記や、社会生活、日常生活に直接影響するという表記が盛り込まれたので、わかりやすく、膨らんだ表現になったと思います。

(委員)

パブリックコメントの意見5番について、県事業のヘルメット着用の推進を記載いただきありがとうございました。知事をはじめ、非常に力を入れている事業で、申請期間が2月9日までなのでまだ利用されていない方へ勧めてほしいと思います。

(委員)

パブリックコメントの件数について、前回計画時の意見は29件に対して今回は6件です。捉え方はいろいろありますが、今回策定委員のメンバーで良い議論ができたため、結果的に意見が少なくなったと捉えています。公募委員2名も含めて十分精査でき、こういう結果になったと思います。

(委員長)

同様に思っています。ご意見も出尽くしたようですので、議決を行います。事務局提案の計画案について承認いただけますでしょうか。

[委員全員挙手]

(委員長)

ありがとうございます。続きまして、議事(2)介護サービス及び地域支援事業の推進についてですが、今回新たに追加された部分になります。事務局より説明をお願いします。

## (2) 議事「介護保険サービス及び地域支援事業の推計について」

(事務局)

[資料3(第10期加古川市高齢者福祉計画 第9期加古川市介護保険事業計画(案))により説明]

(委員長)

ご意見やご質問はありませんか。

(委員)

報酬改定1.59%増と説明がありましたが、実際には報酬の単価が下がったサービスもあります。物価上昇率2%をふまえるとベースアップは3%以上必要との考え方もあり、1.59%増では介護事業所自体の経営は苦しくなるのではないかと感じます。1.59%増だが、実際に潤うと誤解しないようにしないといけないと思いました。

(委員長)

他に何かありますか。保険料のことにも関連してくると思います。それでは議決を行います。

[委員全員挙手]

(委員長)

ありがとうございます。引き続き次の議題に移ります。

### 3. 報告

#### (1) 報告「第9期計画期間の介護保険料(案)について」

(事務局)

[資料3 (第10期加古川市高齢者福祉計画 第9期加古川市介護保険事業計画(案))により説明]

(委員長)

ありがとうございます。ご質問はありますか。

(委員)

財政調整交付金の割合について、国から交付され市町村によって5%未満、5%以上になると説明があり、加古川市では3.62%ということですが、どのように解釈すればいいのか説明をお願いします。

(事務局)

財政調整交付金は、高齢化が進んでいる市町であれば、65歳以上の人から多くの保険料をいただかないと、給付費が支払えない状況になるため、国が各自治体の状況に応じて財政支援する交付金です。加古川市は全国的にみると平均より後期高齢者の割合が低く、また、低所得者層の割合が他市町に比べて少ない為、交付金の金額が5%未満となっています。

(委員長)

その他ありますか。

#### (2) 報告「資料編について」

(事務局)

[資料3 (第10期加古川市高齢者福祉計画 第9期加古川市介護保険事業計画(案))により説明]

(委員長)

ご意見・ご質問いかがですか。

(委員)

内容のことではありませんが、最近フリガナがふられた印刷物が多いと思うので、名称や馴染みのない言葉だけでも、可能な範囲で入れていただけたらと思います。

(委員)

67 ページの介護サービス事業所への指導・監督等の項目について、市民は適正にサービス提供されているか不安です。運営指導・集団指導と記載がありますが、表には運営指導が実地指導という言葉に変わっています。あえて変えているのであれば、用語集にそれぞれ記載される方が分かりやすいと思います。

**(委員)**

シニアクラブです。今年7つのクラブが統廃合する予定と聞きました。運営費が集まらず、今まで通りの活動ができなくなります。今後、クラブがどうしたら増えていくか知恵を頂きたいです。

**(委員)**

今、いろんな地縁組織や集まりが同じ悩みを抱えて動きにくくなっています。社協でも取り組みの組織化に取り組んでいて、ささえあい協議会は町内会連合会や民生委員児童委員協議会に助けていただいて運営できていると思います。会員が少なくなっていて困っている実態を知らない人が多いと思うので、伝えていくことから始めるといいと思います。

**(委員)**

皆さんからのノウハウから進めていければいいと思います。外来には高齢者が多く、心細さを口にしています。老人会の活発な活動ができる人ではないが、何かあったときに不安で、助け合いを求める人です。悩みを抱えているが、不安を表出するのは診察室くらいなんだと思います。医師会で夜間や休日に往診を受けたときに助け合えることがないかという相談からアンケート調査をし、助け合いができる人の名前を書いてもらい組織の担当が繋ぎ、おせっかいをするグループを作ることを行いました。老化に不安を感じている人が多いです。調査で、最後まで住み続けることができるかと聞いたところ、子どもの所に行く、友人、知人が多いからこの地域に住み続けるなど回答がありました。地域包括ケアの中で町内会、老人会も役に立つことや、費用を負担してもいいくらいで高齢者同士の連絡の取り合い、ネットワーク化して、心細さを感じる人の高齢者のネットワークのシェアなど社会福祉協議会が得意かと思いますが、目標を持って取り組んでいく必要があると思います。これから85歳以上の人数が急速に伸びます。次の計画では入院や重度の介護など全然違う時代がくると思うので、こういったことにも取り組めないかと思っています。

**(委員)**

何年も前からささえあい協議会に地区の民生委員の代表として参画しています。ささえあい協議会は高齢者支援をターゲットに地域や事業所と手を取り合いながら進めていくものなのに、シニアクラブが参画していないのはおかしいと思います。ささえあい協議会にも入ってもらって、地域みんなで助けてと声をあげるのも、何かのつながりで助成金をもらうのもいいと思います。各団体が自分だけで頑張る時代は終わり、一緒にいい方向に持っていきましょうという時代になっていると思います。

**(委員長)**

次々といいい意見が出ていますが、他にはありますか。

**(委員)**

加古川市として幸福度を追求するにあたって、シニアクラブの活性化をしていくのか、ポジショニングが大事だと思います。それを支援いただくと活性化しやすいと思います。市や社協はいろいろなところと協

定を結んでいると思うが、何かをしたい団体をどうつなげていくかだと思います。災害時の協定だから災害時だけというのではなく、活性化できる他の団体とも結び付けていただければ、お金だけでなく、物資とかもつながるかもしれません。市や社協が旗振りしてもらえれば、参画団体も出てくると思う。特に、福祉計画に意見を求めたい団体に対して、市にはポジショニングを考えてほしいです。

**(委員)**

社会福祉法人は高齢者事業だけでなく、保育事業やその他の事業も実施していますが、地域に密着して何か支援できないかと思っています。ある法人では、グラウンドゴルフを地域と協働で実施し、イベントを通して普段から地域との関わりを持ち、介護についての相談や災害時の訓練などの実施へと展開しています。近隣にある施設で協力できることはたくさんあると思うし、一度ご相談いただければと思います。

**(委員長)**

繋いでいくためには関係性が必要ですし、関係性が築きやすいスタンスが必要です。ほかによろしいですか。それでは、その他として、事務局から何かありますか。

[資料の差し替え、今後の流れについて説明]

**(委員長)**

以上をもちまして、本日の審議事項を終了いたします。

**4. 閉会**

以上